

第28期 決算報告

# BUSINESS REPORT

平成19年4月1日～平成20年3月31日  
証券コード：6890



**FerroTec**

株式会社 フェローテック

〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14  
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848  
URL <http://www.ferrotec.co.jp>

フェローテックは環境方針に基づき環境保全活動を積極的に推進しています。



**FerroTec**  
株式会社 フェローテック

## エレクトロニクス産業の需要を着実に捉え、 通期でも増収増益を達成することができました。



代表取締役社長 山村 章

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、第28期（2008年3月期）の「決算報告 BUSINESS REPORT」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国の経済は、上半期は好調な海外経済を背景に輸出が増加し、また高水準で推移した企業収益を受け、設備投資も増加基調をたどりました。しかし、下半期以降は、米国の住宅ローン問題から派生した金融不安や為替の急激な変動による株式市場の混乱などに加え、原油や原材料の高騰により、景況は足踏み状態から調整局面を迎えました。特に、米国経済の悪化懸念によるドル安と株式市場の株価下落により、企業収益や資産の時価評価に影響を及ぼす厳しい経済環境となりました。

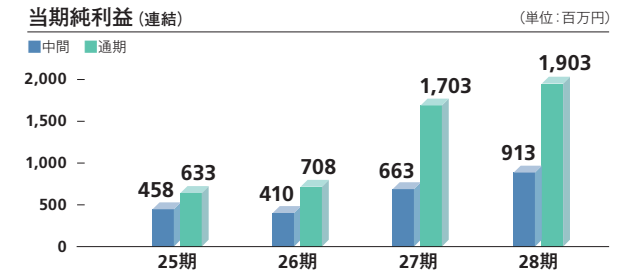
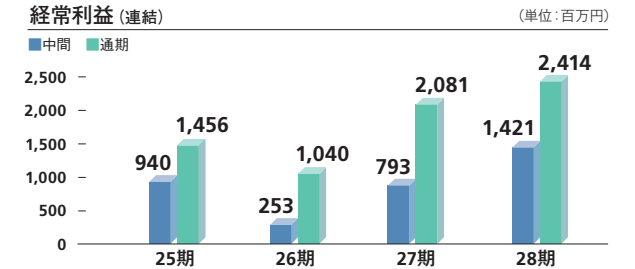
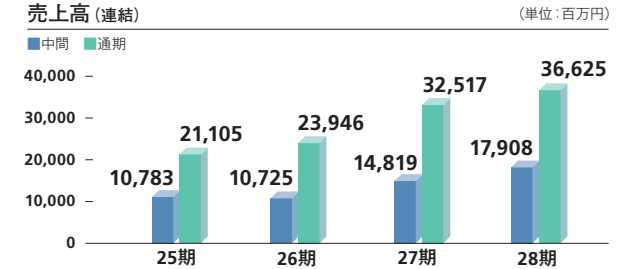
こうした状況のなか、当社グループは、主たる事業分野であるエレクトロニクス産業において、韓国・台湾などの液晶パネルメーカーの設備投資が調整期間に入ったことから、FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置向けの「真空シール」の需要が落込み

ましたが、半導体製造装置向けは米国を中心に堅調に推移し、また太陽電池薄膜装置向けも欧州で順調に推移しました。「石英製品」は、米国ユーザーからの需要が大変好調に推移し、自動車温調シート向けを中心とした「サーモジュール」も引き続き需要が安定して推移しました。

また、「太陽電池用シリコン単結晶引上装置」は、中国の太陽電池セルメーカー各社から大型の受注を得て、出荷を順調に行いました。さらに、2008年3月には、新製品「太陽電池用シリコン多結晶製造装置」を発表しました。

この結果、当期の連結業績は、売上高は36,625百万円（前期比12.6%増）、営業利益は3,057百万円（同33.6%増）、経常利益は2,414百万円（同16.0%増）、当期純利益は1,903百万円（同11.8%増）と、増収増益を達成することができました。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 「単結晶」「多結晶」2つの製品を提供し、 拡大する太陽光発電分野への取り組みを加速。

フェローテックでは、グループ全体でのさらなる成長に向け、近年その需要がますます拡大している新エネルギー、太陽光発電分野への取り組みを強化しています。

ここでは、常務取締役の賀 賢漢が太陽光発電分野への具体的な取り組みについて語ります。



常務取締役 賀 賢漢

—まず、太陽光発電市場が急成長している背景から教えてください。

■賀 ここ数年、地球温暖化問題や原油価格の高騰などを受けて、世界的に太陽光発電が注目されています。たとえば、ドイツには太陽光からつくられた電気は、通常の電気料金の約2.5倍で買い取ってくれるといった国の優遇政策があります。イタリアは約2倍、スペインは約3倍、お隣の韓国は約3倍で買い取ってくれます。

グリーンエネルギーを推進する立場から、国が大型の太陽光発電所を建設するケースも増えています。中国では、上海郊外の崇明区に上海市とフランスの合併によって、2011年の完成をめざして、実に1,000メガワットの発電規模を誇る太陽光発電所の建設が進められています。昨年の太陽光発電パネルの総出荷量は全世界で約2,500メガワット相当ですから、その規模の大きさがわかります。

—太陽光発電の需要が増加しているわけですね。

■賀 はい。太陽光発電による総発電量はまだ、火力、原子力などを含めた全世界の総発電量のわずか0.04%に過ぎません。太陽光発電を推進している国際的協議機関は、この比率を10%を目標に引き上げようとしています。

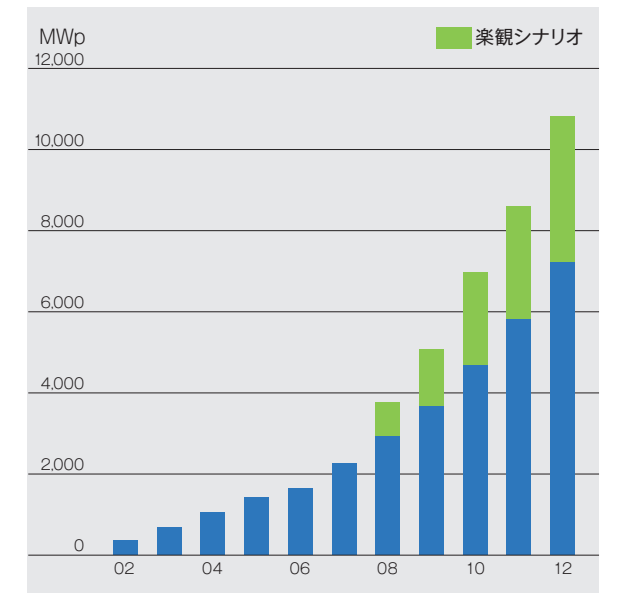
こうした状況からみても太陽光発電市場は、今後さらに拡大していくマーケットであることは確実と言えるでしょう。

—フェローテックでは、そんな太陽光発電の分野へどのような製品を提供しているのでしょうか。

■賀 現在の主力製品は、「シリコン単結晶引上装置」という製品です。これは、太陽電池パネルに使われるシリコン単結晶の塊（インゴット）を製造する装置で、このインゴットを薄くスライスして太陽電池パネルの基板がつくられます。

当社の「シリコン単結晶引上装置」には、回転部に当社のコア技術である「真空シール」が使われているほか、半導体製造装置の生産で培ってきた数多くの技術が活かされています。この4月に中国国内のお客様を訪問した際に製品について高い評価をいただきました。

●太陽光発電分野の成長を示すグラフ



出所:MDP

たが、当社の製品は、従来の引上装置を上回るトップ水準の製品で、国内外の太陽電池セルメーカーから受注が急増しています。この「シリコン単結晶引上装置」と、それに付随するインゴット製造のための石英ルツボなどだけでも、すでに当社の太陽光発電に関連する製品は年率40%という高い成長率を示しています。しかし、これだけではありません。今年3月からは、太陽電池向け「シリコン多結晶製造装置」の製造販売も開始しました。

—それはどのような製品なのですか。

■賀 太陽電池の約80%が結晶系のシリコン太陽電池と言われていますが、結晶系シリコン太陽電池は、単結晶型と多結晶型に大きく分けられます。その名のとおり、「シリコン単結晶引上装置」は単結晶型の太陽電池用シリコンをつくるための製品で、「シリコン多結晶製造装置」は多結晶型の太陽電池用シリコンをつくるための製品です。

一般的に、単結晶型シリコン太陽電池は発電効率には優れているが製造コストが高い。一方、多結晶型は、発電効率は単結晶型より劣るが製造コストでは優位と言われてきました。ところが、両者ともここ数年で格段に進歩し、単結晶型の発電効率は17~18%、多結晶型

も技術革新によって、16%を超えるものも出てきています。そして、コスト面では同じ基板サイズで比較すれば多結晶型の方が2割ほど安いのです。

それだけでなく、多結晶型は単結晶型ほどの純度を必要としない、単結晶シリコン太陽電池パネルのウェーハを加工する際の切りくずを再利用できるといった利点があります。また、大規模な太陽光発電所はコストの安い多結晶型を採用するケースが増えています。

—単結晶型と多結晶型の両方を製造することでメリットはありますか。

■賀 単結晶型と多結晶型は相反するものではありません。従来から「シリコン単結晶引上装置」のお客様で



単結晶引上装置



多結晶製造装置

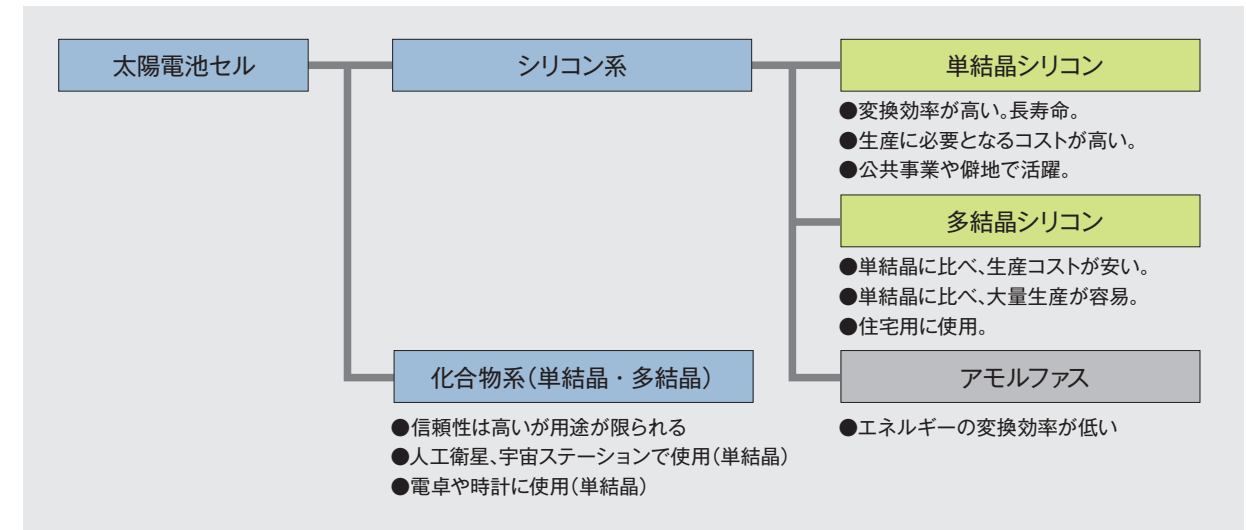
ある単結晶型シリコン太陽電池のセルメーカーは、単結晶型の加工くずを再利用して多結晶型をつくっています。

当社が「シリコン多結晶製造装置」をつくることになったのも、中国の太陽電池セルメーカーから「シリコン多結晶製造装置もつくってくれないか」と依頼があったのがきっかけでした。私たちはすでに多結晶型の製造工程を熟知していましたから、短期間で試作機を完成させることができました。こうしたスピード開発ができたのは、さまざまな技術を蓄積してきたからです。

原材料のポリシリコンを石英でできた槽のなかで溶かし、固めて、さらに冷やし結晶化させるのが「シリコン

多結晶」の製造方法です。これには450kgものポリシリコンを、ヒーターで熱し、一定の温度で保温するという精密な温度管理技術が不可欠です。温度コントロールがうまくいかなければ不純物を上手に分離できないためです。サーモモジュールの開発などを通じて、当社は温度管理についての技術を蓄積してきました。こうした強みが「シリコン多結晶製造装置」の開発に活きました。もちろん「シリコン単結晶引上装置」の製造技術も活用しています。単結晶型も多結晶型も両方を手がけることで相乗効果が出てきています。

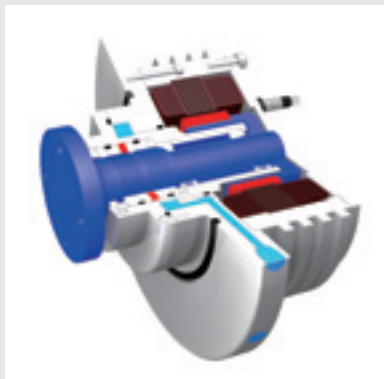
●太陽電池セルの種類と特徴



## 磁性流体真空シールとDCサーボモータを一体化した「フェロードライブ」を発売

フェローテックでは、真空装置の回転導入に使用される磁性流体シールとDCサーボモータを一体化した新製品「フェロードライブ」を2007年12月に発売しました。従来、同様の用途で使われていた「磁性流体真空シール」は、後付でモータやプーリーなどの駆動用部品を取り付ける必要があったため、「ギアとギアの隙間などに寸法のずれや衝撃が生じる」「装置寸法が小さくできない」などの課題がありました。新たに発売した「フェロードライブ」は、磁性流体シールにDCサーボモータを組み込み、ダイレクトドライブとすることで、従来の課題を解決。回転精度の向上や装置寸法の小型化などに大きく貢献します。

フェローテックでは、この製品の積極的な拡販を図り、装置関連事業のさらなる売上拡大をめざしています。



## 韓国に合併会社を設立

フェローテックでは、2007年12月に韓国の液晶装置メーカー、セントラル・マイクロニクス社と韓国市場の太陽電池顧客の開拓を目的に、ソウル市に合併会社を設立しました。

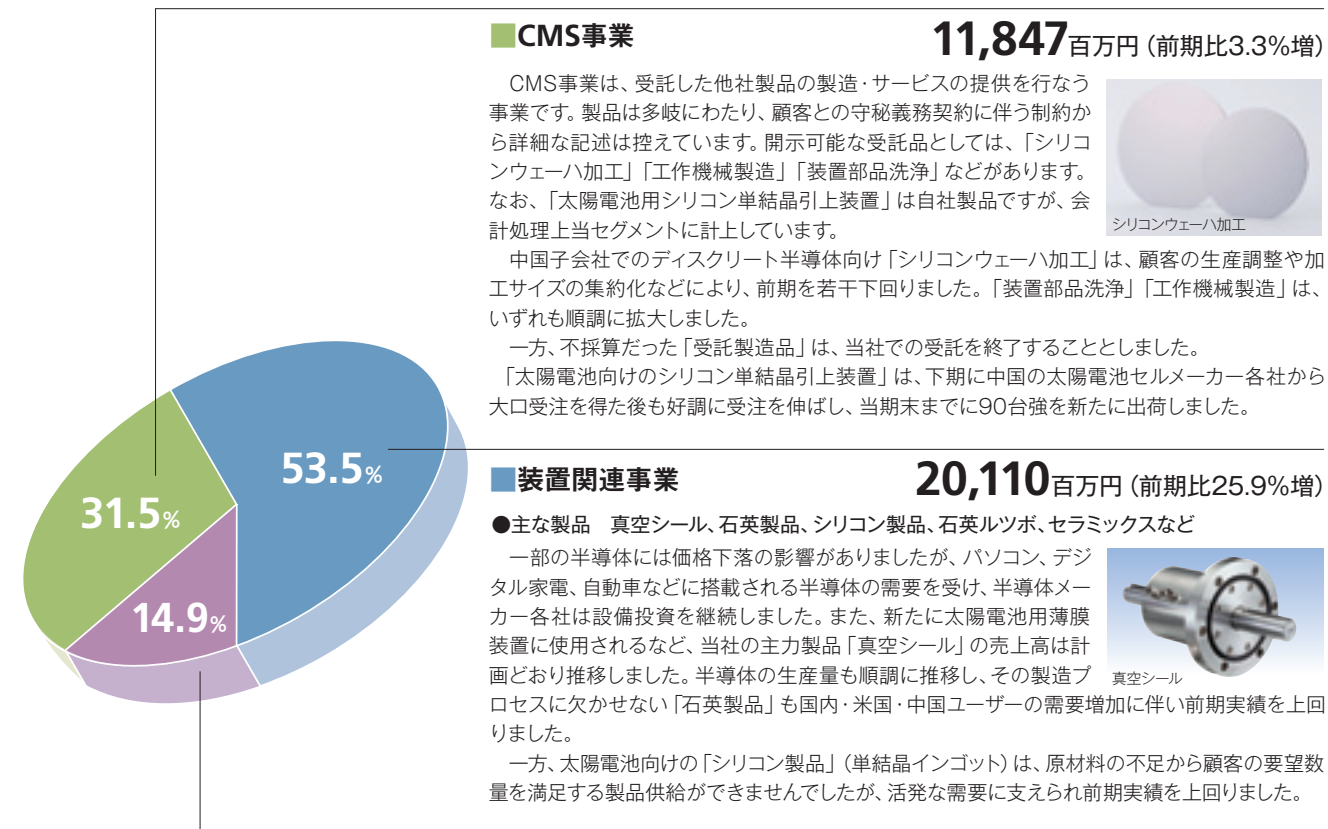
韓国では、政府の優遇政策によって太陽光発電への需要が増加しています。フェローテックでは、今回設立した合併会社を通じて、太陽光発電市場のニーズにきめ細やかに対応していくことで、同国でも太陽光発電分野の売上を拡大していく計画です。

### 合併会社の概要

- 社名  
CMC Ferrotec Corporation
- 所在地  
ソウル市江南区

## 営業情報

### セグメント別売上高



### ■CMS事業

**11,847**百万円 (前期比3.3%増)

CMS事業は、受託した他社製品の製造・サービスの提供を行なう事業です。製品は多岐にわたり、顧客との守秘義務契約に伴う制約から詳細な記述は控えています。開示可能な受託品としては、「シリコンウェーハ加工」「工作機械製造」「装置部品洗浄」などがあります。なお、「太陽電池用シリコン単結晶引上装置」は自社製品ですが、会計処理上当セグメントに計上しています。



シリコンウェーハ加工

中国子会社でのディスクリート半導体向け「シリコンウェーハ加工」は、顧客の生産調整や加工サイズの集約化などにより、前期を若干下回りました。「装置部品洗浄」「工作機械製造」は、いずれも順調に拡大しました。

一方、不採算だった「受託製造品」は、当社での受託を終了することとしました。

「太陽電池向けのシリコン単結晶引上装置」は、下期に中国の太陽電池セルメーカー各社から大口受注を得た後も好調に受注を伸ばし、当期末までに90台強を新たに出荷しました。

### ■装置関連事業

**20,110**百万円 (前期比25.9%増)

●主な製品 真空シール、石英製品、シリコン製品、石英ルツボ、セラミックスなど

一部の半導体には価格下落の影響がありましたが、パソコン、デジタル家電、自動車などに搭載される半導体の需要を受け、半導体メーカー各社は設備投資を継続しました。また、新たに太陽電池用薄膜装置に使用されるなど、当社の主力製品「真空シール」の売上高は計画どおり推移しました。半導体の生産量も順調に推移し、その製造プロセスに欠かせない「石英製品」も国内・米国・中国ユーザーの需要増加に伴い前期実績を上回りました。



真空シール

一方、太陽電池向けの「シリコン製品」(単結晶インゴット)は、原材料の不足から顧客の要望数量を満足する製品供給ができませんでしたが、活発な需要に支えられ前期実績を上回りました。

### ■電子デバイス事業

**5,609**百万円 (前期比6.0%増)

●主な製品 サーモモジュール、磁性流体、基板実装など

「サーモモジュール」は、主力の自動車温調シート向けでは搭載車種が増加したほか、半導体、バイオ、医療、光学、家電向けと広範な需要に支えられ安定的に推移しました。また、「磁性流体」はホームシアター用スピーカーなどへの採用が進みました。



サーモモジュール

一方、「基板実装」は、受注単価の下落が続き収益性の改善が見られないため、この事業から撤退しました。

※上記売上高はセグメント間の内部売上高を含みます。

## 連結財務諸表 (要約)

### 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	第28期 平成20年3月31日現在	第27期 平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,461,589	3,225,758
受取手形及び売掛金	6,961,770	6,725,773
たな卸資産	4,431,595	3,821,929
繰延税金資産	193,862	127,583
その他	1,949,343	2,191,383
貸倒引当金	△91,684	△130,823
<b>流動資産合計</b>	<b>18,906,477</b>	<b>15,961,604</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	5,425,862	5,497,427
機械装置及び運搬具	5,661,010	5,804,241
工具器具備品	2,262,452	1,588,844
土地	2,579,549	2,590,358
建設仮勘定	398,331	795,603
<b>有形固定資産合計</b>	<b>16,327,206</b>	<b>16,276,475</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	2,067,924	2,532,651
その他	1,006,033	941,473
<b>無形固定資産合計</b>	<b>3,073,958</b>	<b>3,474,124</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,135,611	1,437,159
長期貸付金	39,901	51,716
繰延税金資産	105,887	50,500
その他	1,425,683	1,457,980
貸倒引当金	△41,194	△53,015
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>2,665,889</b>	<b>2,944,342</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>22,067,054</b>	<b>22,694,942</b>
<b>資産合計</b>	<b>40,973,532</b>	<b>38,656,547</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:千円)

科目	第28期 平成20年3月31日現在	第27期 平成19年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	4,147,136	3,667,730
短期借入金	3,332,521	3,771,765
一年内返済予定長期借入金	2,930,071	2,248,992
一年内償還予定転換社債型新株予約権付社債	—	1,658,744
未払法人税等	703,502	130,818
繰延税金負債	5,719	10,735
賞与引当金	173,277	382,725
その他	2,960,716	2,995,136
<b>流動負債合計</b>	<b>14,252,944</b>	<b>14,866,647</b>
<b>固定負債</b>		
社債	100,000	—
長期借入金	4,299,431	4,508,596
繰延税金負債	174,295	346,047
退職給付引当金	29,204	24,686
役員退職慰労引当金	6,300	126,300
その他	609,954	510,759
<b>固定負債合計</b>	<b>5,219,185</b>	<b>5,516,390</b>
<b>負債合計</b>	<b>19,472,129</b>	<b>20,383,037</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	7,320,151	6,910,461
資本剰余金	7,922,063	7,750,570
利益剰余金	4,413,321	2,800,331
自己株式	△86,168	△1,178,575
<b>株主資本合計</b>	<b>19,569,368</b>	<b>16,282,787</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	241,526	448,159
繰延ヘッジ損益	—	3,126
為替換算調整勘定	1,483,927	1,323,084
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,725,453</b>	<b>1,774,369</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>206,579</b>	<b>216,352</b>
<b>純資産合計</b>	<b>21,501,402</b>	<b>18,273,509</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>40,973,532</b>	<b>38,656,547</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	第28期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	第27期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>36,625,425</b>	<b>32,517,168</b>
売上原価	25,984,548	23,476,437
<b>売上総利益</b>	<b>10,640,877</b>	<b>9,040,730</b>
販売費及び一般管理費	7,583,432	6,751,894
<b>営業利益</b>	<b>3,057,444</b>	<b>2,288,835</b>
営業外収益	319,669	393,781
営業外費用	962,883	600,939
<b>経常利益</b>	<b>2,414,230</b>	<b>2,081,677</b>
特別利益	798,536	489,736
特別損失	322,732	381,891
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>2,890,034</b>	<b>2,189,523</b>
法人税、住民税及び事業税	1,135,814	430,919
法人税等調整額	△145,176	42,273
少数株主利益(又は損失△)	△4,500	13,049
<b>当期純利益</b>	<b>1,903,896</b>	<b>1,703,281</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	第28期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	第27期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>4,413,865</b>	<b>2,049,616</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△2,104,423</b>	<b>△2,665,518</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△174,500</b>	<b>△487,172</b>
<b>現金及び現金同等物に 係る換算差額</b>	<b>100,888</b>	<b>220,175</b>
<b>現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)</b>	<b>2,235,830</b>	<b>△882,897</b>
<b>現金及び現金同等物の 期首残高</b>	<b>3,225,758</b>	<b>4,108,656</b>
<b>現金及び現金同等物の 期末残高</b>	<b>5,461,589</b>	<b>3,225,758</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
<b>平成19年3月31日残高</b>	<b>6,910,461</b>	<b>7,750,570</b>	<b>2,800,331</b>	<b>△1,178,575</b>	<b>16,282,787</b>	<b>448,159</b>	<b>3,126</b>	<b>1,323,084</b>	<b>1,774,369</b>	<b>216,352</b>	<b>18,273,509</b>
<b>連結会計年度中の変動額</b>											
<b>新株の発行</b>	<b>409,690</b>	<b>409,690</b>			<b>819,381</b>						<b>819,381</b>
<b>剰余金の配当</b>			<b>△226,564</b>		<b>△226,564</b>						<b>△226,564</b>
<b>当期純利益</b>			<b>1,903,896</b>		<b>1,903,896</b>						<b>1,903,896</b>
<b>自己株式の取得</b>				<b>△920</b>	<b>△920</b>						<b>△920</b>
<b>自己株式の処分</b>		<b>△238,197</b>		<b>1,093,328</b>	<b>855,131</b>						<b>855,131</b>
<b>その他</b>			<b>△64,341</b>		<b>△64,341</b>						<b>△64,341</b>
<b>株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)</b>						<b>△206,633</b>	<b>△3,126</b>	<b>160,842</b>	<b>△48,916</b>	<b>△9,772</b>	<b>△58,689</b>
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>409,690</b>	<b>171,493</b>	<b>1,612,990</b>	<b>1,092,407</b>	<b>3,286,581</b>	<b>△206,633</b>	<b>△3,126</b>	<b>160,842</b>	<b>△48,916</b>	<b>△9,772</b>	<b>3,227,892</b>
<b>平成20年3月31日残高</b>	<b>7,320,151</b>	<b>7,922,063</b>	<b>4,413,321</b>	<b>△86,168</b>	<b>19,569,368</b>	<b>241,526</b>	<b>—</b>	<b>1,483,927</b>	<b>1,725,453</b>	<b>206,579</b>	<b>21,501,402</b>

(注)利益剰余金の当連結会計年度中の変動額「その他」は、中国子会社における財務管理規定第37条に基づく従業員奨励および福利基金繰入額であります。  
※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別財務諸表 (要約)

### 貸借対照表

(単位:千円)

科目	第28期	第27期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	9,180,832	7,587,495
固定資産	17,378,897	16,679,480
有形固定資産	2,931,373	2,896,273
無形固定資産	139,358	15,611
投資その他の資産	14,308,166	13,767,595
<b>資産合計</b>	<b>26,559,729</b>	<b>24,266,976</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,907,349	7,020,253
固定負債	2,303,889	1,787,617
長期借入金	1,933,189	1,318,910
役員退職慰労引当金	—	116,500
その他	370,700	352,207
<b>負債合計</b>	<b>9,211,238</b>	<b>8,807,870</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	17,106,669	15,010,946
評価・換算差額等	241,821	448,159
<b>純資産合計</b>	<b>17,348,491</b>	<b>15,459,105</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>26,559,729</b>	<b>24,266,976</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### 損益計算書

(単位:千円)

科目	第28期	第27期
	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>18,035,011</b>	<b>15,123,765</b>
売上原価	15,231,329	12,685,716
<b>売上総利益</b>	<b>2,803,682</b>	<b>2,438,048</b>
販売費及び一般管理費	2,689,693	2,168,112
<b>営業利益</b>	<b>113,988</b>	<b>269,936</b>
営業外収益	1,234,995	499,762
営業外費用	297,203	107,287
<b>経常利益</b>	<b>1,051,780</b>	<b>662,411</b>
特別利益	345,967	492,656
特別損失	389,793	249,778
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,007,954</b>	<b>905,289</b>
法人税、住民税及び事業税	453,407	37,237
過年度法人税等	△4,278	△2,240
法人税等調整額	△89,870	141,088
<b>当期純利益</b>	<b>648,696</b>	<b>729,203</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### 株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計					
平成19年3月31日残高	6,910,461	5,615,387	1,896,171	7,511,559	1,767,501	1,767,501	△1,178,575	15,010,946	448,159	448,159	15,459,105
事業年度中の変動額											
新株発行	409,690	409,690		409,690				819,381			819,381
剰余金の配当					△226,564	△226,564		△226,564			△226,564
当期純利益					648,696	648,696		648,696			648,696
自己株式の取得							△920	△920			△920
自己株式の処分			△238,197	△238,197			1,093,328	855,131			855,131
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									△206,337	△206,337	△206,337
事業年度中の変動額合計	409,690	409,690	△238,197	171,493	422,131	422,131	1,092,407	2,095,722	△206,337	△206,337	1,889,385
平成20年3月31日残高	7,320,151	6,025,078	1,657,974	7,683,052	2,189,633	2,189,633	△86,168	17,106,669	241,821	241,821	17,348,491

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式の状況

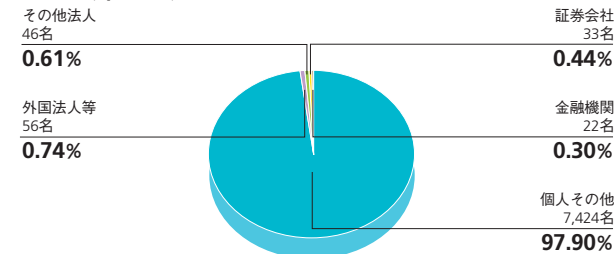
(平成20年3月31日現在)

### 大株主

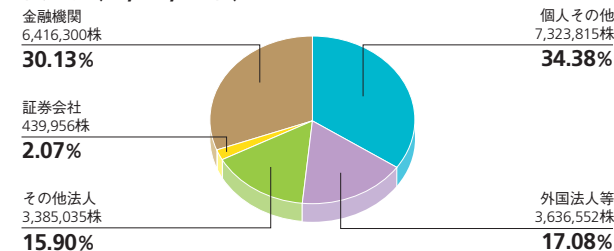
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1. 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,936,800	9.10
2. 株式会社小松製作所	1,820,000	8.55
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1,391,700	6.54
4. 株式会社クボタ	1,200,000	5.64
5. 日興シティ信託銀行 (投信口)	850,000	3.99
6. 山村 章	803,800	3.77
7. ゴールドマン・サックス・アンド・ カンパニーレギュラーアカウント	510,400	2.40
8. ドイツェバンク アーゲー ロンドン ピービー ノントリティー クライアantz 613	484,600	2.28
9. 株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.97
10. 住友信託銀行株式会社	400,000	1.88

### 所有者別株式分布状況

#### 株主数(7,582名)



#### 株式数(21,294,922株)



※自己株式93,264株は上記の円グラフ中の株主数・株式数に含まれていません。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	株主確定 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付および電話照会先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求)	☎ 0120-175-417
(その他のご照会)	☎ 0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

## 企業データ

### 会社概要

商号 (英文表記)	株式会社フェローテック Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	73億2,000万円
株式公開	JASDAQ 平成8年10月18日 (証券コード:6890)
決算期	3月31日
従業員数	181名
事業所	
本社	〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
関西営業所	〒541-0053 大阪市中央区本町4-6-17本町KGビル8F
東北営業所	〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北2-53
釜石事業所	〒026-0302 岩手県釜石市片岸町3-35
千葉テクニカルセンター	〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

### 役員 (平成20年6月24日現在)

代表取締役社長	山村 章
常務取締役	賀 賢漢
取締役	有賀 敬治
取締役	吉田 勝
取締役	小松 輝寿
取締役	山村 丈
取締役	椿 勲
社外取締役	山根 威人
常勤監査役	宮田 賢一
監査役	野口 光夫
監査役	井上 朗

### グローバルネットワーク

国内	株式会社フェローテックシリコン (東京) アリオンテック株式会社 (山形) 株式会社フェローテッククオーツ (大阪)
海外	杭州大和熱磁電子有限公司 (中国杭州市) 上海申和熱磁電子有限公司 (中国上海市) 上海漢虹精密機械有限公司 (中国上海市) 台湾飛羅特股份有限公司 (台湾) Ferrotec Korea Co., Ltd. (韓国) Ferrotec Corporation Singapore Pte. Ltd. (シンガポール) Ferrotec (USA) Corporation (アメリカ) Ferrotec GmbH (ドイツ) Ferrotec Ltd. (イギリス) Ferrotec S.A. (スペイン) Ferrotec S.R.L. (イタリア) Ferrotec SARL (フランス) SCTB NORD (ロシア)

ウェブサイトの「投資家向け情報」ページをご活用ください。

URL <http://www.ferrotec.co.jp/ir/>



投資家向け情報のトップ画面

ウェブサイトの「投資家向け情報」ページでは、ニュースリリースや各種IR資料のほか、フェローテックグループの経営方針や注力施策をご紹介するコーナーを開設。株主のみならず投資判断に資するさまざまな情報を随時発信しています。

当社のウェブサイトをご活用ください。



シリーズ特集



IRデータ>戦略プレゼンムービー

### ●「投資家向け情報」ページサイトマップ

